

2014年1月31日

2013年度第4回研究会（通算第53回）

1, イヌの膀胱がんを自然療法で治療した1例

さこ動物病院 迫秀樹先生

イヌの扁平上皮癌をホモトキシコロジーの自家血療法とホメオパシーの内服で治療し、1年6か月後に腎不全で死亡した。イヌの移行上皮癌の外科手術後の中央生存率は86日、膀胱腫瘍全体での外科手術後の中央生存率は290日である。これに比較すると極めて長期間にわたり生存させることができた。

2, V字切開後の眼瞼麻痺の症例

エンゼルペットクリニック 名越譲治

慢性外耳炎により耳道が狭窄した症例に対し両側の **Lateral resection** を実施したところ、その3日後から左上眼瞼が閉じなくなった。そこで週に2~3回、鍼治療を行ったところ10回目で治癒した、

次回の研究会は2014年3月28日に開催予定